

# 資源株ファンド 通貨選択シリーズ 〈オーストラリアドル・コース〉（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第110期（決算日 2019年1月17日） 第112期（決算日 2019年3月18日） 第114期（決算日 2019年5月17日）  
第111期（決算日 2019年2月18日） 第113期（決算日 2019年4月17日） 第115期（決算日 2019年6月17日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「資源株ファンド 通貨選択シリーズ〈オーストラリアドル・コース〉（毎月分配型）」は、2019年6月17日に第115期の決算を行ないましたので、第110期から第115期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年11月20日から2024年6月17日までです。
運用方針	主として、世界の資源関連企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641219>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
86期(2017年1月17日)	5,607	30		2.5	—	96.6	6,565	
87期(2017年2月17日)	5,696	30		2.1	—	96.4	6,536	
88期(2017年3月17日)	5,388	30	△	4.9	—	97.2	6,117	
89期(2017年4月17日)	5,100	30	△	4.8	—	96.7	5,717	
90期(2017年5月17日)	5,007	30	△	1.2	—	97.1	5,479	
91期(2017年6月19日)	4,834	30	△	2.9	—	97.0	5,269	
92期(2017年7月18日)	5,131	30		6.8	—	96.8	5,362	
93期(2017年8月17日)	4,951	30	△	2.9	—	97.0	5,034	
94期(2017年9月19日)	5,275	30		7.2	—	96.7	5,084	
95期(2017年10月17日)	5,310	30		1.2	—	96.7	4,876	
96期(2017年11月17日)	5,000	30	△	5.3	—	96.6	4,440	
97期(2017年12月18日)	5,125	30		3.1	—	96.5	4,485	
98期(2018年1月17日)	5,797	30		13.7	—	96.2	4,752	
99期(2018年2月19日)	5,162	30	△	10.4	—	96.8	4,046	
100期(2018年3月19日)	4,961	30	△	3.3	—	96.8	3,866	
101期(2018年4月17日)	5,188	30		5.2	—	96.7	3,978	
102期(2018年5月17日)	5,418	30		5.0	—	96.7	3,899	
103期(2018年6月18日)	5,136	30	△	4.7	—	96.9	3,558	
104期(2018年7月17日)	5,161	30		1.1	—	96.8	3,520	
105期(2018年8月17日)	4,674	30	△	8.9	—	96.7	3,070	
106期(2018年9月18日)	4,737	30		2.0	—	96.8	2,960	
107期(2018年10月17日)	4,717	30		0.2	—	97.0	2,910	
108期(2018年11月19日)	4,503	30	△	3.9	—	97.1	2,751	
109期(2018年12月17日)	4,022	30	△	10.0	—	96.9	2,415	
110期(2019年1月17日)	3,965	30	△	0.7	—	96.9	2,378	
111期(2019年2月18日)	4,193	30		6.5	—	97.1	2,483	
112期(2019年3月18日)	4,173	30		0.2	—	96.9	2,420	
113期(2019年4月17日)	4,366	30		5.3	—	96.6	2,491	
114期(2019年5月17日)	3,818	30	△	11.9	—	96.8	2,140	
115期(2019年6月17日)	3,625	30	△	4.3	—	96.7	1,972	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

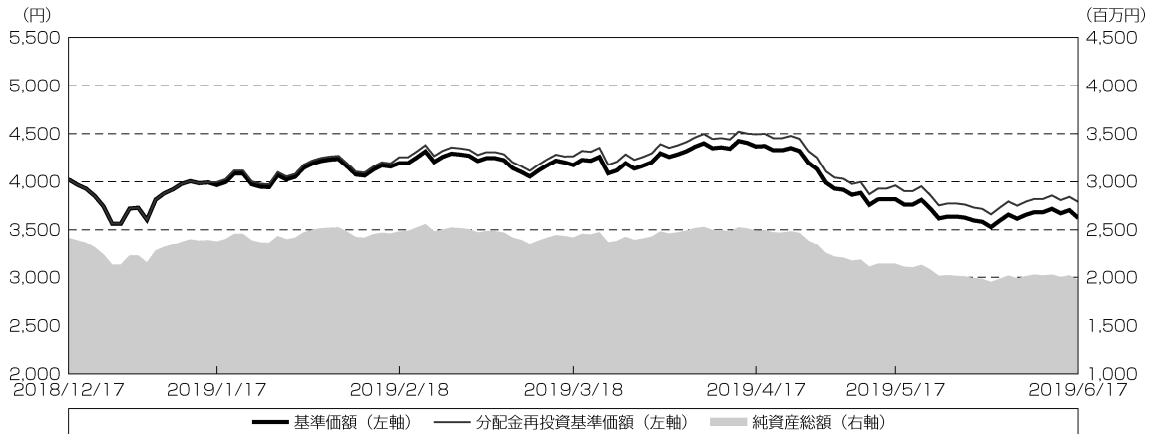
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第110期	(期 首) 2018年12月17日	円	4,022	—	% 96.9
	12月末		3,729	△ 7.3	97.0
	(期 末) 2019年1月17日		3,995	△ 0.7	96.9
第111期	(期 首) 2019年1月17日		3,965	—	96.9
	1月末		4,146	4.6	97.1
	(期 末) 2019年2月18日		4,223	6.5	97.1
第112期	(期 首) 2019年2月18日		4,193	—	97.1
	2月末		4,270	1.8	97.2
	(期 末) 2019年3月18日		4,203	0.2	96.9
第113期	(期 首) 2019年3月18日		4,173	—	96.9
	3月末		4,166	△ 0.2	97.1
	(期 末) 2019年4月17日		4,396	5.3	96.6
第114期	(期 首) 2019年4月17日		4,366	—	96.6
	4月末		4,131	△ 5.4	96.4
	(期 末) 2019年5月17日		3,848	△11.9	96.8
第115期	(期 首) 2019年5月17日		3,818	—	96.8
	5月末		3,584	△ 6.1	97.0
	(期 末) 2019年6月17日		3,655	△ 4.3	96.7

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2018年12月18日～2019年6月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



第110期首：4,022円  
 第115期末：3,625円 (既払分配金(税込み)：180円)  
 騰落率：△5.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界の資源株に実質的に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、オーストラリアドル買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にオーストラリアドル建てで運用を行ないます。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会(FRB)議長が景気に配慮した金融政策を進める姿勢を示したこと。
- ・2019年3月の米国連邦公開市場委員会(FOMC)で2019年内の利上げの見送りが決定されたこと。
- ・南米の鉱山ダムの決壊事故を受けた供給懸念や中国の鉄鋼増産などから、鉄鉱石の価格が上昇したこと。
- ・財務規律によって資源および資源関連企業のキャッシュフローが改善し、自社株買いや配当引き上げなど株主価値が向上し始めたこと。

<値下がり要因>

- ・FRBの追加利上げの決定などから米国景気の減速への懸念が強まったこと。
- ・米国と中国との間の貿易を巡る対立が深刻化したこと。
- ・原油在庫の増加などを背景に原油価格が下落したこと (2019年5月～期間末)。
- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

投資環境

(株式市況)

期間中の世界の株式市場では、米国や欧州各国などの株価は総じて上昇しました。また、資源銘柄および資源関連銘柄の株価も上昇しましたが、総じて世界の株式市場を下回るパフォーマンスとなりました。

期間の初めから2019年4月下旬にかけては、FRBの追加利上げの決定などから米国景気の減速への懸念が強まり、米国や欧州各国などの株価が下落する局面があったものの、FRB議長が景気に配慮した金融政策を進める姿勢を示したことや、米中通商協議において、知的財産権保護、技術移転、農産物などの問題で進展が見られたとして、米国大統領が協議期限を延期すると表明したことや、それを受けて協議が合意に至るとの期待が高まったこと、3月のFOMCで2019年内の利上げの見送りを決定したことなどが支援材料となり、米国や欧州各国などの株価は総じて上昇しました。5月上旬から期間末にかけては、米国の利下げ観測が一段と高まったことなどが株価の支援材料となったものの、米国が中国製品の輸入関税の税率引き上げを発表し、これに対して中国は報復的な関税措置を発表するなど米国と中国との間の貿易を巡る対立が深刻化したことなどから、世界的な景気減速懸念が意識され、米国や欧州各国などの株価は総じて下落しました。

期間中のコモディティ市況については、主要商品でまちまちとなりました。原油価格は、期間末にかけては在庫の増加などから軟調となったものの、石油輸出機構(OPEC)とロシアなどOPEC非加盟国の減産や、一部の産油国の供給面での懸念などから上昇しました。天然ガスは、天候要因による需要低下が意識されたことなどから価格が下落しました。金価格は、地政学的リスクが意識されたことで安全資産としての注目が高まったことや、世界景気の先行き減速懸念やFRBによる利上げ休止観測などを背景に、金に対する投資魅力が相対的に高まったことなどから上昇しました。非鉄金属は、米中間の貿易摩擦の激化などを受けた需要減少懸念などから、一部を除いて総じて価格が下落しました。一方、鉄鉱石については、南米の鉱山ダムの決壊事故を受けた供給懸念や、中国の鉄鋼の増産などから価格が上昇しました。

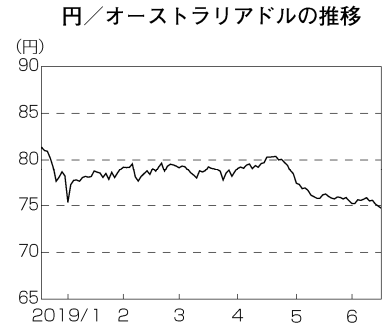
(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.07%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.25%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中におけるオーストラリアドル(対円)は、右記の推移となりました。



### 当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス)

期間の初めは、株価の下落によって投資魅力が高まっているとみられる質の高いコア銘柄への投資機会が増加しました。セクター別では、株価が大幅に下落し上値余地が大きいとみられたエネルギー探査・生産および油田サービスセクターの銘柄を中心に買い増しを行ないました。これらの購入には、主に金や各種鉱業、農業関連銘柄の保有削減による売却代金などを充てました。資源および資源関連銘柄の株価が2018年12月下旬に底値をつけて以降、世界経済の成長見通しやコモディティ価格が底堅く推移する可能性に関する楽観的な見方から株価が反発したことを受けて、エネルギー探査・生産セクターでバリュエーション(株価評価)が割高とみられる銘柄のポジションを削減しました。これらの売却による資金は、既存の保有銘柄のポジション積み増しや、バリュエーションが魅力的な水準にある銘柄の新規購入に充て、ポートフォリオの分散を図りました。また、株価の下落をとらえて、リチウム生産銘柄などのポジションを積み増し、これらの購入には、主にキャッシュおよびパフォーマンスが相対的に良好に推移してきており、悪天候に関連して2019年第1四半期の業績がある程度低迷した可能性のある肥料銘柄の一部売却による資金を充てました。2019年4月には、米国の大手エネルギー探査・生産銘柄に対する買収提案から当該銘柄の株式が上昇したところでその一部を売却し、その資金を他の投資機会に充てました。

貿易や関税についての米国と中国の対立などから世界経済の成長鈍化に対する市場の懸念が高まった5月以降は、それによって市場のボラティリティ(価格変動性)が高まった一方、買いの好機ともなり、これまで割高だった株式へ魅力的なバリュエーションでの乗り換えが可能となりました。当ファンドでは、この下落局面で油田サービスセクターを中心に幾つかの銘柄で積み増しを図るとともに、エネルギー探査・生産セクター内での入れ替えなどを行ないました。原油在庫の増加などから原油価格が下落した期間末にかけては、一部のエネルギー探査・生産銘柄のポジションを積み増しました。これらの銘柄の購入資金として、足元で株価が相対的に上昇していた肥料銘柄のポジションを削減しました。当該銘柄にとって季節的に重要な第2四半期に、肥料や種の需要減少が見込まれたためです。

また、原則として、オーストラリアドル買い／米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にオーストラ

リアドル建てで運用を行ないました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日	2019年5月18日～ 2019年6月17日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.751%	0.710%	0.714%	0.682%	0.780%	0.821%
当期の収益	30	30	30	30	30	30
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	8,954	8,975	8,994	9,015	9,034	9,053

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス)

2019年4月下旬に上昇した市場のボラティリティ(変動性)は、米中間の貿易摩擦の深刻化と、そのことが世界経済の成長に及ぼす影響に対する懸念が高まるなか、5月に入ってから継続しました。歴史的にみて原油の需要と国内総生産(GDP)成長率との相関は比較的高いことから、今後は需要が減少し石油生産企業による実勢価格も下落するとの予想が増えています。また、特に中国の経済成長が大幅に鈍化した場合に、金属および素材の需要や価格も悪影響を受ける可能性があります。ただし、このようなシナリオと株価に及ぼす影響の評価において難しい点は、そのような結果が各企業の業績見通しや株価のバリュエーションにすでにどの程度織り込まれているかを見極めることです。ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が悪化すれば、コモディティの需要や想定価格の落ち込みによって業績予想が低迷する一方、株価はすでに十分に下落しており、下方修正される可能性を株価はほぼ織り込んでいるとみられます。このことは、多くの資源および資源関連銘柄、特にエネルギーセクターにおいて、大半のシナリオの下でバリュエーションの魅力度が増しつつあることを示唆しています。加えて、より優れた探査・生産セクター企業は、より多くのフリーキャッシュフローを創出する戦略にシフトしており、一部のケースでは配当および自社株買いプログラムを策定していることから、株価はより底堅く推移するものと考えられます。

油田サービスセクターでは、業績予想およびバリュエーションが示唆していると考えられるのは、今後数年間は業績が拡大する可能性は小さいというのですが、現実性に乏しいと考えています。油田サービス企業もフリーキャッシュフローを高めるために資本支出を削減しており、市場への供給を合理化するとみられます。しかし、企業レベルでのファンダメンタルズが回復している一方で、妥当と予想される水準よりも大幅に株価が下落することがあり、したがって、引き続き慎重な姿勢で運用を行ないつつ、同時に相対的に魅力がより増してきており、世界経済の見通しがさらに悪化したとしてもより底堅く推移するとみられる銘柄を組み入れることによって、ポートフォリオの価値向上を図る方針です。

鉱業や素材関連セクターも、世界の経済活動が大きく鈍化した場合に、同じ理由で悪影響を受けると考えられますが、多くの場合において供給が抑制されており、コモディティ価格や関連企業業績および株価の支援要因となる可能性があります。コストや支出を数年前に削減していることから、大手の鉱業会社は景気後退を切り抜けやすい状況にあり、そうした局面では有利な投資機会になるとみています。こうした状況にあることは、健全なバランスシートと安定した配当とともに、株価が相対的に良好に推移する理由の一部と言えます。金関連銘柄については、金に注力する鉱業企業がコストや支出を削減した結果、金価格が上昇基調となればフリーキャッシュフローの創出力が良好になると考えられ、そのため、他のセクターがさらに下落する場合に、ポートフォリオに一定の安定をもたらすとみています。

また、原則として、オーストラリアドル買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にオーストラリアドル建てで運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年12月18日～2019年6月17日)

項 目	第110期～第115期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 22	% 0.539	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 4 )	( 0.092 )	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 17 )	( 0.431 )	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 1 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.034	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 1 )	( 0.032 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.000 )	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	23	0.573	
作成期間の平均基準価額は、4,004円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

○売買及び取引の状況

(2018年12月18日～2019年6月17日)

投資信託証券

銘柄		第110期～第115期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス	千口 476,687	千円 105,186	千口 1,161,984	千円 258,402

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第110期～第115期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 185	千円 186	千口 857	千円 859

○利害関係人との取引状況等

(2018年12月18日～2019年6月17日)

利害関係人との取引状況

<資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース> (毎月分配型) >

区分	第110期～第115期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券	105	105	100.0	258	258	100.0
金銭信託	483	483	100.0	483	483	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第110期～第115期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
金銭信託	2,838	2,838	100.0	2,838	2,838	100.0

平均保有割合 0.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年12月18日～2019年6月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況 (2018年12月18日～2019年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細 (2019年6月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第109期末	第115期末		
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス	10,369,052	9,683,754	1,907,699	96.7
合計	10,369,052	9,683,754	1,907,699	96.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第109期末	第115期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド	2,608	1,937	1,942

(注) 親投資信託の2019年6月17日現在の受益権総口数は、421,741千口です。

○投資信託財産の構成 (2019年6月17日現在)

項目	第115期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,907,699	94.3
マネー・アカウント・マザーファンド	1,942	0.1
コール・ローン等、その他	112,530	5.6
投資信託財産総額	2,022,171	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末
	2019年1月17日現在	2019年2月18日現在	2019年3月18日現在	2019年4月17日現在	2019年5月17日現在	2019年6月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,412,599,885	2,529,249,878	2,443,954,809	2,523,239,564	2,168,162,598	2,022,171,020
コール・ローン等	104,684,616	106,163,797	95,281,372	112,691,921	88,234,167	102,020,460
投資信託受益証券(評価額)	2,305,531,683	2,411,525,010	2,346,248,150	2,408,121,154	2,071,349,520	1,907,699,732
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	2,383,586	2,425,287	2,425,287	2,426,489	2,438,837	1,942,757
未収入金	—	9,135,784	—	—	6,140,074	10,508,071
(B) 負債	34,106,890	45,251,516	23,607,224	31,405,832	27,270,982	49,966,113
未払金	13,119,768	11,951,697	—	—	—	12,099,809
未払収益分配金	17,994,375	17,770,369	17,399,172	17,121,752	16,822,801	16,322,119
未払解約金	236,568	12,472,354	3,349,890	11,202,076	7,415,167	18,354,780
未払信託報酬	2,091,694	2,310,196	2,040,383	2,186,401	2,065,013	1,864,173
未払利息	154	144	75	131	116	118
その他未払費用	664,331	746,756	817,704	895,472	967,885	1,325,114
(C) 純資産総額(A-B)	2,378,492,995	2,483,998,362	2,420,347,585	2,491,833,732	2,140,891,616	1,972,204,907
元本	5,998,125,051	5,923,456,395	5,799,724,046	5,707,250,940	5,607,600,535	5,440,706,515
次期繰越損益金	△3,619,632,056	△3,439,458,033	△3,379,376,461	△3,215,417,208	△3,466,708,919	△3,468,501,608
(D) 受益権総口数	5,998,125,051口	5,923,456,395口	5,799,724,046口	5,707,250,940口	5,607,600,535口	5,440,706,515口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,965円	4,193円	4,173円	4,366円	3,818円	3,625円

(注) 当ファンドの第110期首元本額は6,006,981,167円、第110～115期中追加設定元本額は189,963,727円、第110～115期中一部解約元本額は756,238,379円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第110期0.3965円、第111期0.4193円、第112期0.4173円、第113期0.4366円、第114期0.3818円、第115期0.3625円です。

(注) 2019年6月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は3,468,501,608円です。

○損益の状況

項 目	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日	2019年5月18日～ 2019年6月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	31,059,599	30,806,024	30,281,707	29,901,668	29,680,404	28,895,937
受取配当金	31,062,492	30,808,952	30,283,344	29,904,193	29,683,431	28,898,682
受取利息	21	24	43	-	-	-
支払利息	△ 2,914	△ 2,952	△ 1,680	△ 2,525	△ 3,027	△ 2,745
(B) 有価証券売買損益	△ 44,212,061	124,394,921	△ 22,551,336	99,571,636	△ 318,001,071	△ 115,117,954
売買益	1,159,226	125,375,657	747,350	101,234,531	2,957,407	2,718,237
売買損	△ 45,371,287	△ 980,736	△ 23,298,686	△ 1,662,895	△ 320,958,478	△ 117,836,191
(C) 信託報酬等	△ 2,174,804	△ 2,401,012	△ 2,120,562	△ 2,272,385	△ 2,146,949	△ 2,229,652
(D) 当期繰越損益金 (A+B+C)	△ 15,327,266	152,799,933	5,609,809	127,200,919	△ 290,467,616	△ 88,451,669
(E) 前期繰越損益金	△ 1,001,244,102	△ 1,016,661,883	△ 859,426,791	△ 854,779,411	△ 729,221,471	△ 999,586,783
(F) 追加信託差損益金	△ 2,585,066,313	△ 2,557,825,714	△ 2,508,160,307	△ 2,470,716,964	△ 2,430,197,031	△ 2,364,141,037
(配当等相当額)	( 5,007,071,151)	( 4,946,505,087)	( 4,844,795,350)	( 4,768,635,345)	( 4,686,637,083)	( 4,549,436,567)
(売買損益相当額)	(△ 7,592,137,464)	(△ 7,504,330,801)	(△ 7,352,955,657)	(△ 7,239,352,309)	(△ 7,116,834,114)	(△ 6,913,577,604)
(G) 計 (D+E+F)	△ 3,601,637,681	△ 3,421,687,664	△ 3,361,977,289	△ 3,198,295,456	△ 3,449,886,118	△ 3,452,179,489
(H) 収益分配金	△ 17,994,375	△ 17,770,369	△ 17,399,172	△ 17,121,752	△ 16,822,801	△ 16,322,119
次期繰越損益金 (G+H)	△ 3,619,632,056	△ 3,439,458,033	△ 3,379,376,461	△ 3,215,417,208	△ 3,466,708,919	△ 3,468,501,608
追加信託差損益金	△ 2,585,066,313	△ 2,557,825,714	△ 2,508,160,307	△ 2,470,716,964	△ 2,430,197,031	△ 2,364,141,037
(配当等相当額)	( 5,007,071,151)	( 4,946,505,087)	( 4,844,795,350)	( 4,768,635,345)	( 4,686,637,083)	( 4,549,436,567)
(売買損益相当額)	(△ 7,592,137,464)	(△ 7,504,330,801)	(△ 7,352,955,657)	(△ 7,239,352,309)	(△ 7,116,834,114)	(△ 6,913,577,604)
分準備積立金	363,917,443	370,178,578	371,616,883	376,860,950	379,738,371	376,554,517
繰越損益金	△ 1,398,483,186	△ 1,251,810,897	△ 1,242,833,037	△ 1,121,561,194	△ 1,416,250,259	△ 1,480,915,088

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2018年12月18日～2019年6月17日) は以下の通りです。

項 目	2018年12月18日～ 2019年1月17日	2019年1月18日～ 2019年2月18日	2019年2月19日～ 2019年3月18日	2019年3月19日～ 2019年4月17日	2019年4月18日～ 2019年5月17日	2019年5月18日～ 2019年6月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	28,884,705円	30,329,342円	28,161,103円	29,376,900円	27,533,366円	26,666,213円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	5,007,071,151円	4,946,505,087円	4,844,795,350円	4,768,635,345円	4,686,637,083円	4,549,436,567円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	353,027,113円	357,619,605円	360,854,952円	364,605,802円	369,027,806円	366,210,423円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,388,982,969円	5,334,454,034円	5,233,811,405円	5,162,618,047円	5,083,198,255円	4,942,313,203円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	8,984円	9,005円	9,024円	9,045円	9,064円	9,083円
g. 分配金	17,994,375円	17,770,369円	17,399,172円	17,121,752円	16,822,801円	16,322,119円
h. 分配金(1万円当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期
1万口当たり分配金 (税込み)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2018年12月18日から2019年6月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」へ変更するべく、2019年3月16日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第49条、第49条の2)

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
<b>運用の基本方針</b>		
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざします。	
主な投資対象	世界の米ドル建て資源関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の米ドル建て資源関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。</li> <li>・銘柄選択にあたっては、企業の財務データなどに基づく定量分析と業界内での競争力や経営者のマネジメント能力の評価といった定性分析を実施します。</li> <li>・原則として、純資産総額と同額程度のオーストラリアドル買い／米ドル売りの為替取引を行ないます。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。 なお、管理会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
<b>ファンドに係る費用</b>		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.71%以内 (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
<b>その他</b>		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2109年12月31日まで	
決算日	原則として、毎年2月末日	

○貸借対照表

ナチュラル・リソース・ファンド

2019年2月28日現在  
(日本円で表示)

<b>資産</b>		
投資（公正価値）（取得原価61,007,862,999円）		60,264,978,107
現金		30,596,693
外貨（取得原価212,670,214円）		212,275,214
ブローカーからの未収金		41,188,400
外国為替先渡契約に係る未実現利益		2,257,456,712
受益証券発行に係る未収金		384,711
未収配当		153,250,454
<b>資産合計</b>		<b>62,960,130,291</b>
<b>負債</b>		
外国為替先渡契約に係る未実現損失		1,837,532,901
ブローカーへの未払金		55,660,000
受益証券買戻に係る未払金		96,262,106
未払運用報酬		93,808,084
その他未払報酬および費用		18,497,179
<b>負債合計</b>		<b>2,101,760,270</b>
<b>純資産</b>		<b>60,858,370,021</b>
受益証券1口あたりの純資産－豪ドル・クラス受益証券（純資産4,123,366,934円、受益証券残高数17,551,085,342口に基づく）	JPY	0.2349
受益証券1口あたりの純資産－ブラジル・レアル・クラス受益証券（純資産49,037,863,494円、受益証券残高数258,148,285,175口に基づく）	JPY	0.1900
受益証券1口あたりの純資産－南アフリカ・ランド・クラス受益証券（純資産4,847,890,772円、受益証券残高数24,944,509,238口に基づく）	JPY	0.1943
受益証券1口あたりの純資産－日本円クラス受益証券（純資産48,070,654円、受益証券残高数78,187,993口に基づく）	JPY	0.6148
受益証券1口あたりの純資産－トルコ・リラ・クラス受益証券（純資産101,914,964円、受益証券残高数503,724,001口に基づく）	JPY	0.2023
受益証券1口あたりの純資産－メキシコ・ペソ・クラス受益証券（純資産37,549,022円、受益証券残高数96,341,520口に基づく）	JPY	0.3897
受益証券1口あたりの純資産－米ドル・クラス受益証券（純資産2,661,714,181円、受益証券残高数4,588,683,599口に基づく）	JPY	0.5801



## ○損益計算書

### ナチュラル・リソース・ファンド

2019年2月28日に終了した年度  
(日本円で表示)

#### 投資収益

配当収入 (源泉徴収税377, 117, 886円控除後)	2, 186, 341, 461
利息収入	40, 468, 826
その他収益	13, 709, 849
投資収益合計	<u>2, 240, 520, 136</u>

#### 費用

支払利息	1, 569, 463
アドミニストレーション手数料	34, 154, 003
運用報酬	493, 335, 559
専門家報酬	9, 180, 362
受託者報酬	5, 383, 290
保護預り手数料	33, 626, 271
クレジット・ファシリティ手数料	54, 964, 110
その他報酬および費用	749, 091
ファンドに係る費用合計	<u>632, 962, 149</u>

#### 投資純利益

1, 607, 557, 987

#### 実現純損失および未実現損失の変動額

##### 実現純損失

投資有価証券	2, 906, 277, 972
外貨取引および外国為替先渡契約	(12, 077, 924, 347)
実現純損失	<u>(9, 171, 646, 375)</u>

##### 未実現評価損の純変動額

投資有価証券	(1, 642, 025, 940)
外貨取引および外国為替先渡契約	1, 068, 147, 695
未実現評価損の純変動額	<u>(573, 878, 245)</u>

#### 実現純損失および未実現損失の変動額

(9, 745, 524, 620)

#### 運用による純資産の純減少額

(8, 137, 966, 633)

○投資ポートフォリオ

ナチュラル・リソース・ファンド

2019年2月28日現在

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	オーストラリア (1.55%)			
	各種金属・鉱業 (1.55%) (取得原価579,869,311円)			
USD	South 32 Ltd.	608,592	944,752,479	1.55
	オーストラリア合計 (取得原価579,869,311円)		944,752,479	1.55
	バミューダ (0.93%)			
	農業 (0.93%) (取得原価753,001,627円)			
USD	Bunge Ltd.	95,890	566,601,233	0.93
	バミューダ合計 (取得原価753,001,627円)		566,601,233	0.93
	ブラジル (0.40%)			
	石油・ガス (0.40%) (取得原価178,152,283円)			
USD	Petroleo Brasileiros SA ADR	140,398	245,689,583	0.40
	ブラジル合計 (取得原価178,152,283円)		245,689,583	0.40
	カナダ (14.31%)			
	化学 (5.10%) (取得原価3,007,337,279円)			
USD	Nutrien Ltd.	512,022	3,102,987,462	5.10
	鉱業 (6.50%) (取得原価3,977,095,687円)			
USD	Agnico Eagle Mines Ltd.	168,709	797,428,076	1.32
USD	Alamos Gold Inc	1,220,873	657,792,828	1.08
USD	B2Gold Corp	2,598,616	908,332,887	1.49
USD	Barrick Gold Corp	562,755	791,844,160	1.30
USD	Teck Resources Ltd. Class B	319,431	797,945,438	1.31
	鉱業合計		3,953,343,389	6.50

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
カナダ (14.31%) (続き)				
	石油・ガス (2.71%) (取得原価1,643,465,351円)			
USD	Canadian Natural Resources Ltd.	192,242	607,770,894	1.00
USD	Suncor Energy Inc	271,990	1,043,377,560	1.71
	石油・ガス合計		<u>1,651,148,454</u>	<u>2.71</u>
	カナダ合計 (取得原価8,627,898,317円)		<u>8,707,479,305</u>	<u>14.31</u>
中国 (1.11%)				
	石油・ガス (1.11%) (取得原価754,112,522円)			
USD	China Petroleum & Chemical Corp ADR	38,121	364,103,503	0.60
USD	PetroChina Co. Ltd.	42,336	310,387,933	0.51
	石油・ガス合計		<u>674,491,436</u>	<u>1.11</u>
	中国合計 (取得原価754,112,522円)		<u>674,491,436</u>	<u>1.11</u>
キュラソー (3.55%)				
	石油・ガス (3.55%) (取得原価3,207,893,229円)			
USD	Schlumberger Ltd.	439,910	2,157,653,037	3.55
	キュラソー合計 (取得原価3,207,893,229円)		<u>2,157,653,037</u>	<u>3.55</u>
フランス (3.42%)				
	石油・ガス (3.42%) (取得原価1,845,551,788円)			
USD	Total S.A ADR	328,207	2,079,264,349	3.42
	フランス合計 (取得原価1,845,551,788円)		<u>2,079,264,349</u>	<u>3.42</u>

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	アイルランド (0.61%)			
	化学 (0.61%) (取得原価345,846,741円)			
USD	Linde Plc	19,179	369,868,560	0.61
	アイルランド合計 (取得原価345,846,741円)		369,868,560	0.61
	メキシコ (0.53%)			
	建築材料 (0.53%) (取得原価534,119,997円)			
USD	Cemex Sab De Cv Sponsor ADR Us Line	594,693	321,076,003	0.53
	メキシコ合計 (取得原価534,119,997円)		321,076,003	0.53
	ロシア連邦 (1.56%)			
	石油・ガス (1.56%) (取得原価608,455,994円)			
USD	Lukoil OAO ADR	102,028	948,940,779	1.56
	ロシア連邦合計 (取得原価608,455,994円)		948,940,779	1.56
	南アフリカ (1.33%)			
	鉱業 (1.33%) (取得原価629,599,698円)			
USD	AngloGold Ashanti Ltd.	514,587	811,711,956	1.33
	南アフリカ合計 (取得原価629,599,698円)		811,711,956	1.33

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>英国 (22.00%)</b>				
<b>鉱業 (14.17%) (取得原価6,396,670,179円)</b>				
USD	Anglo American Plc ADR	1,179,719	1,761,086,280	2.89
USD	BHP Billiton Plc ADR	730,156	3,768,999,123	6.19
USD	Rio Tinto Plc ADR	477,143	3,091,326,120	5.09
	<b>鉱業合計</b>		<b>8,621,411,523</b>	<b>14.17</b>
<b>石油・ガス (6.53%) (取得原価3,481,996,709円)</b>				
USD	BP Plc ADR	347,230	1,648,578,224	2.71
USD	Rowan Companies Plc	156,272	196,751,050	0.32
USD	Royal Dutch Shell Plc ADR Class A	307,836	2,131,831,578	3.50
	<b>石油・ガス合計</b>		<b>3,977,160,852</b>	<b>6.53</b>
<b>石油サービス (1.30%) (取得原価1,040,573,227円)</b>				
USD	Technipfmc Ltd.	317,776	788,504,989	1.30
	<b>英国合計 (取得原価10,919,240,115円)</b>		<b>13,387,077,364</b>	<b>22.00</b>
<b>米国 (47.72%)</b>				
<b>農業 (1.43%) (取得原価884,008,028円)</b>				
USD	Archer-Daniels-Midland Co	182,957	865,588,032	1.43
<b>化学 (5.84%) (取得原価3,743,171,862円)</b>				
USD	Albemarle	59,288	602,508,653	0.99
USD	BASF AG	378,668	804,707,067	1.32
USD	CF Industries Holdings Inc	57,899	271,992,416	0.45
USD	DowDupont	187,733	1,112,424,050	1.83
USD	Monsanto Co	130,615	328,750,862	0.54
USD	Mosaic Co	123,611	430,287,057	0.71
	<b>化学合計</b>		<b>3,550,670,105</b>	<b>5.84</b>

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>米国 (47.72%) (続き)</b>				
<b>林産品・製紙 (2.28%) (取得原価1,462,621,731円)</b>				
USD	International Paper Co	271,923	1,386,993,128	2.28
<b>鉄・鉄鋼 (1.74%) (取得原価959,219,583円)</b>				
USD	Nucor Corp	157,220	1,060,080,018	1.74
<b>鉱業 (3.79%) (取得原価2,386,289,177円)</b>				
USD	Alcoa Corp	78,819	258,836,918	0.43
USD	Freeport-McMoRan Inc	855,324	1,228,269,452	2.02
USD	Newmont Mining Corp	106,415	404,189,618	0.66
USD	Southern Copper Corp	104,616	414,708,909	0.68
	<b>鉱業合計</b>		<b>2,306,004,897</b>	<b>3.79</b>
<b>石油・ガス (20.73%) (取得原価13,232,061,791円)</b>				
USD	Anadarko Petroleum Corp	101,705	492,498,422	0.81
USD	Cabot Oil & Gas Corp	285,292	781,899,480	1.28
USD	Callon Petroleum Co	557,238	474,542,860	0.78
USD	Chevron Corp	133,263	1,773,950,173	2.91
USD	Concho Resources Inc	74,247	909,169,541	1.49
USD	ConocoPhillips	51,534	389,239,573	0.64
USD	Diamondback Energy Inc	61,321	702,626,432	1.15
USD	EOG Resources Inc	52,224	546,476,220	0.90
USD	EQT Corp	195,679	394,707,788	0.65
USD	Exxon Mobil Corp	276,646	2,433,826,745	4.00
USD	Hess Corp	59,293	381,838,812	0.63
USD	Jagged Peak Energy Inc	334,343	352,464,594	0.58
USD	Marathon Petroleum Corp	61,468	424,310,810	0.70
USD	Occidental Petroleum Corp	108,383	798,112,842	1.31
USD	Patterson Utility Energy Inc	360,944	532,790,696	0.88
USD	Phillips 66	34,764	372,906,383	0.61
USD	Pioneer Natural Resources Co	28,372	445,172,485	0.73
USD	William Companies Inc	138,299	410,904,499	0.68
	<b>石油・ガス合計</b>		<b>12,617,438,355</b>	<b>20.73</b>

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	米国 (47.72%) (続き)			
	石油・ガスサービス (1.08%) (取得原価755,689,969円)			
USD	Cactus Inc	39,766	160,514,027	0.26
USD	Liberty Oilfield Services Inc	77,141	140,660,593	0.23
USD	RPC Inc	299,415	358,307,006	0.59
	石油・ガスサービス合計		<u>659,481,626</u>	<u>1.08</u>
	石油サービス (6.52%) (取得原価5,769,015,143円)			
USD	Baker Hughes Inc	346,987	1,018,969,717	1.67
USD	Dril-Quip Inc	50,379	238,965,034	0.39
USD	Haliburton Co	461,803	1,577,709,064	2.59
USD	Oceaneering International Inc	141,748	243,791,581	0.40
USD	Oil States International Inc	297,680	567,980,933	0.93
USD	Superior Energy Services Inc	628,365	327,364,153	0.54
	石油サービス合計		<u>3,974,780,482</u>	<u>6.52</u>
	包装・容器 (0.93%) (取得原価641,617,391円)			
USD	Packaging Corp	53,270	566,850,377	0.93
	パイプライン (0.49%) (取得原価273,258,195円)			
USD	Oneok Inc	41,914	299,828,638	0.49
	不動産投資信託 (1.45%) (取得原価1,098,148,969円)			
USD	Weyerhaeuser Co	317,865	880,726,144	1.45

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	米国 (47.72%) (続き)			
	鉄鋼 (1.44%) (取得原価819,019,538円)			
USD	Steel Dynamics Inc	212,285	881,930,221	1.44
	米国合計 (取得原価32,024,121,377円)		29,050,372,023	47.72
	普通株式合計 (取得原価61,007,862,999円)		60,264,978,107	99.02
	外国為替先渡契約		419,923,811	0.69
	純金融資産合計		60,684,901,918	99.71
	その他純資産		173,468,103	0.29
	純資産合計		60,858,370,021	100.00



## 外国為替先渡契約

2019年2月28日現在、ファンドはカストディアンに以下の外国為替先渡契約を保有していた。

契約金額 買建／(売建)	通貨	満期日	円貨受取／ (支払)	外貨受取／ (支払)	未実現(損)益
			日本円	日本円	日本円
52,500,000	Australian Dollar	06-Mar-19	(4,108,435,637)	4,156,309,539	47,873,902
1,618,023,425	Brazilian Real	06-Mar-19	(46,873,627,307)	47,982,746,894	1,109,119,587
7,083,665	Mexican Pesos	06-Mar-19	(40,656,354)	40,862,442	206,088
5,047,455	Turkish Lira	06-Mar-19	(104,653,416)	104,911,463	258,047
512,045,387	US Dollar	06-Mar-19	(56,716,583,021)	56,972,617,457	256,034,436
(282,433,792)	US Dollar	02-Apr-19	31,694,883,358	(31,352,677,562)	342,205,796
(229,500,000)	US Dollar	03-May-19	25,918,400,743	(25,416,641,887)	501,758,856
<b>外国為替先渡契約に係る未実現益</b>					<b>2,257,456,712</b>
(52,500,000)	Australian Dollar	06-Mar-19	4,125,603,812	(4,156,309,539)	(30,705,727)
52,500,000	Australian Dollar	02-Apr-19	(4,167,141,258)	4,148,555,260	(18,585,998)
(1,618,144,500)	Brazilian Real	06-Mar-19	47,573,567,690	(47,986,337,393)	(412,769,703)
754,240,000	Brazilian Real	02-Apr-19	(22,489,338,109)	22,276,041,156	(213,296,953)
869,242,725	Brazilian Real	03-May-19	(25,918,399,370)	25,548,073,589	(370,325,781)
(7,083,665)	Mexican Pesos	06-Mar-19	40,714,388	(40,862,442)	(148,054)
6,391,222	Mexican Pesos	02-Apr-19	(36,872,659)	36,623,609	(249,050)
611,417,413	South African Rand	06-Mar-19	(4,866,045,697)	4,834,975,484	(31,070,213)
(611,417,413)	South African Rand	06-Mar-19	4,825,691,477	(4,834,975,484)	(9,284,007)
612,319,253	South African Rand	02-Apr-19	(4,849,734,851)	4,814,573,120	(35,161,731)
(5,047,455)	Turkish Lira	06-Mar-19	104,233,407	(104,911,463)	(678,056)
5,047,455	Turkish Lira	02-Apr-19	(105,021,377)	103,037,225	(1,984,152)
(510,075,767)	US Dollar	06-Mar-19	56,040,194,620	(56,753,468,096)	(713,273,476)
<b>外国為替先渡契約に係る未実現(損)</b>					<b>(1,837,532,901)</b>

円建以外の外国為替先渡契約は米ドル建のクロス外国為替先渡契約である。ただし、米ドル建の外国為替先渡契約は円とのクロス先渡契約である。

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第9期（決算日 2018年10月12日）  
（2017年10月13日～2018年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
5期(2014年10月14日)	円		%	%	百万円
	10,042		0.1	60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首) 2017年10月12日	円		%
	10,038		—
10月末	10,038		0.0
11月末	10,037		△0.0
12月末	10,037		△0.0
2018年1月末	10,037		△0.0
2月末	10,036		△0.0
3月末	10,036		△0.0
4月末	10,035		△0.0
5月末	10,035		△0.0
6月末	10,034		△0.0
7月末	10,034		△0.0
8月末	10,033		△0.0
9月末	10,033		△0.0
(期 末) 2018年10月12日	10,032		△0.1

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2017年10月13日～2018年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,038円の基準価額は、期間末に10,032円となり、騰落率は△0.1%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.17%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

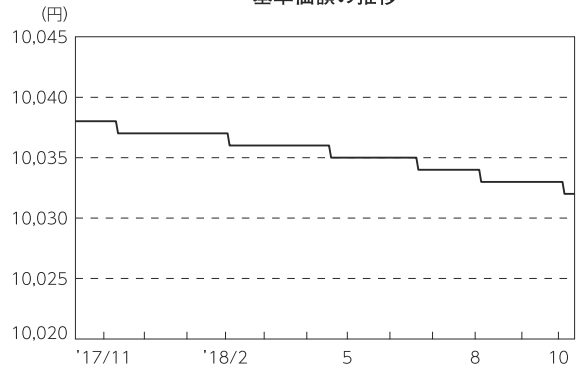
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2017/10/12	2017/10/13	2018/10/04	2018/10/12
10,038円	10,038円	10,032円	10,032円

## ○1万口当たりの費用明細

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、10,035円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年10月13日～2018年10月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
金銭信託	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0	百万円 11,132	百万円 11,132	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年10月13日～2018年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2018年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	605,858	100.0
投資信託財産総額	605,858	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				605,858,725
	コール・ローン等			605,858,725
(B) 負債				9,859,302
	未払解約金			9,858,703
	未払利息			599
(C) 純資産総額(A-B)				595,999,423
	元本			594,074,221
	次期繰越損益金			1,925,202
(D) 受益権総口数				594,074,221口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,032円

(注) 当ファンドの期首元本額は658,910,922円、期中追加設定元本額は304,155,041円、期中一部解約元本額は368,991,742円です。

(注) 2018年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド (毎月分配型)	358,147,422円	・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	725,751円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル>コース (毎月分配型)	36,196,956円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	723,023円
・アジア社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	26,256,562円	・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	691,513円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	19,096,921円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	635,335円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	18,570,537円	・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	544,823円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	15,981,965円	・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	463,986円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	12,364,787円	・世界標準債券ファンド (1年決算型)	460,453円
・世界標準債券ファンド	12,050,910円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	381,841円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	10,591,675円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド>コース (毎月分配型)	356,561円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	9,431,195円	・世界のサイフ2 (毎月分配型)	233,801円
・アジア社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	9,152,201円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり (適格機関投資家向け)	215,785円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	8,702,715円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	127,193円
・アジアリートファンド (毎月分配型)	7,421,881円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	116,742円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	99,919円
・グリーン世銀債ファンド	4,236,231円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,764,914円	・グローバル・ハイブリッド・プレミアム(為替ヘッジあり)	72,778円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,251,660円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	47,478円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	3,051,032円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	40,587円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル>コース(毎月分配型)	3,035,103円	・グローバル・ハイブリッド・プレミアム(為替ヘッジなし)	38,995円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル>コース(毎月分配型)	2,956,103円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	23,036円
・アジアREITオープン (毎月分配型)	2,052,394円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・エマージング・プラス・円戦略コース	2,037,236円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,967,219円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・インデックスファンドMLP (1年決算型)	1,694,896円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・高金利成長通貨ファンド (毎月分配型)	1,671,472円	・アジア債券ファンド (毎月分配型)	16,193円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,646,511円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	12,325円
・欧州社債ファンド Bコース (為替ヘッジなし)	1,507,644円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,146,753円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,998円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興グラビティ・ファンド	1,051,712円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	957,814円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,133円
・欧州社債ファンド Aコース (為替ヘッジあり)	786,512円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0032円です。

## ○損益の状況

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	361,869
	支払利息		1,241
(B) 保管費用等		△	363,110
(C) 当期損益金(A+B)		△	44,086
(D) 前期繰越損益金			405,955
(E) 追加信託差損益金			2,493,348
(F) 解約差損益金			1,111,221
(G) 計(C+D+E+F)		△	1,273,412
	次期繰越損益金(G)		1,925,202

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2017年10月13日から2018年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。